

拠出金名:国連人道問題調整部拠出金

国際機関等名	国連人道問題調整部 (英文名称・略称) United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (UNOCHA)				
種別	(国連(事務局))	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	468,866	4,989		1米ドル = 94円	100
平成21年度	462,257	4,488		1米ドル = 103円	100
平成20年度	281,136	2,488		1米ドル = 113円	100
当該拠出金の目的・用途等	人道支援活動の調整業務の強化				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(千米ドル)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	248,600
1位	スウェーデン	27,685	14.8	当該年度の支出	224,308
2位	米国	21,680	11.6	次年度への繰越	24,292
3位	ノルウェー	19,928	10.7	会計検査機関名	
4位	EC	19,905	10.7	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
5位	英国	14,282	7.7	(現在の構成員の出身国:英, 南ア, 中)	
日本は9位、拠出率 2.7%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>UNOCHAは、国連諸機関による人道支援活動の調整を主たる任務としている。このような調整機能は、大規模な自然災害や紛争等が発生したときに、UNHCR, WFP, UNICEF等の国連人道機関や赤十字, NGO等の専門機関の知見・経験等を有効かつ効果的に活用するために重要である。</p> <p>また、UNOCHAは、NY, ジュネーブ及び現地で調整会議を開催し、情報収集・管理・提供を行い国連統一アピールをとりまとめ発出している。この情報は、我が国が緊急人道支援を決定し実施するに当たり重要な役割を果たしている。さらに、人道問題担当事務次長を中心とするアドボカシー活動は、国連のみならず国際社会全体における人道支援活動に大きな影響を与えている。</p> <p>最近では、包括的な活動・収支報告書の作成を通じて、収支状況をより正確に把握し、財政管理の透明化を図るべく、各種基金口座の整理・統廃合を進めている。2005年以降、国連の人道支援改革を踏まえて、より効率的かつ効果的な緊急人道支援活動を行えるような改革が進められており、CERFの設立はその成果の一つである。</p> <p>なお、UNOCHAは、従前の活動規模を維持しつつも、2011年予算は過去20年間で初めて純減となるなど、財政合理化を積極的に進めている。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	12人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	547人 2.2%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名	備考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
UNOCHA幹部との会談等の機会を捉え、邦人職員の積極的採用を申し入れている。JPOの送り込みも積極的に行っていく。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。